

# 令和5年度学校アンケート「よりよい凌雲中にしていくために」(1学期末) 保護者・生徒・教員の結果と分析、改善策

令和5年9月

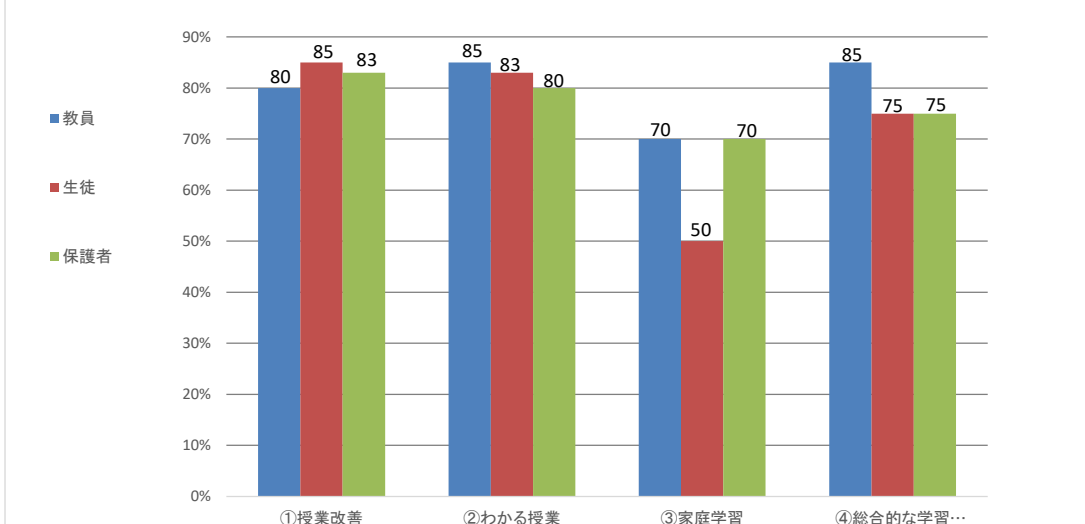
## 学校アンケートの結果を振り返って

保護者の回収期間 7月10日(月)～7月31日(月)  
 保護者の回収率の推移 66%(1学期末)・・・60%(令和4年度2学期末)  
 集計・分析の結果は以下のとおりです。  
 表中の( )は満点の場合4.0になります。%は4.0と比較した割合です。  
 比較は令和4年度(2学期末)との比較で○は上昇、・は同じ、▲は下降となっております。

## <学習面> 「よくあてはまる」は4 「ややあてはまる」は3 「あまりあてはまらない」は2 「全くあてはまらない」は1

項目	回答者	設問内容	令和5年度(1学期末)	比較	令和4年度(2学期末)
① 授業改善	教員	学力向上を目指した授業改善に努めているか	80%(3.2)	▲	83%(3.3)
	生徒	先生は各教科の勉強をわかるまで一生懸命教えてくれるか	85%(3.4)	・	85%(3.4)
	保護者	学校(教師)は子どもの学力向上に努めているか	83%(3.3)	・	83%(3.3)
② わかる授業	教員	わかりやすい授業づくりに努め基礎基本の定着を図っているか	85%(3.4)	▲	93%(3.7)
	生徒	先生の授業は楽しくわかりやすいか	83%(3.3)	○	80%(3.2)
	保護者	学校(教師)はわかりやすい授業を行うために工夫しているか	80%(3.2)	・	80%(3.2)
③ 家庭学習	教員	学習意欲を高め家庭学習の習慣化を図っているか	70%(2.8)	▲	73%(2.9)
	生徒	毎日の家庭学習を必ず行っているか	50%(2.2)	▲	68%(2.7)
	保護者	学校(教師)は子どもの家庭学習の習慣化を図る工夫をしているか	70%(2.8)	▲	78%(3.1)
④ 総合的な学習の時間充実	教員	将来の生き方を考えた教育活動の充実に努めているか	85%(3.4)	○	80%(3.2)
	生徒	将来の進路や職業について考えたり、体験したりする授業が行われ、自分の生き方を考えることができるか	75%(3.0)	・	75%(3.0)
	保護者	将来へ向けた進路や職業、生き方を考えさせる授業や体験的な学習が計画的に実施されているか	75%(3.0)	▲	78%(3.1)

## 「学習面」の達成度



## <改善策・2学期に向けて>

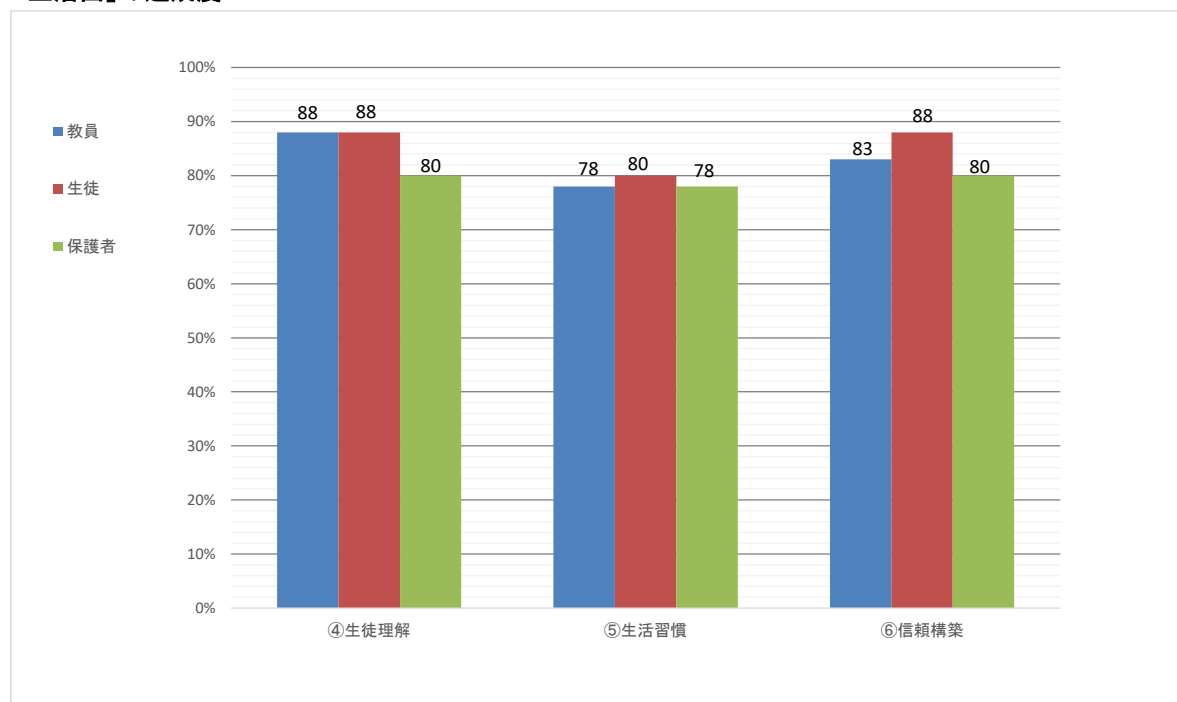
「わかる授業」を行うための授業改善は、継続して学校全体で取り組んでまいります。「家庭学習の習慣化」につきましても、生徒が日々家庭学習に取り組めるよう家庭と連携しながら改善していく方策を考えていきます。「総合的な学習に時間」につきましては、生徒の将来の生き方に繋がるよう、学習内容を工夫しながら進めてまいります。

## <生活面>

よくあてはまる場合は4 ややあてはまる場合は3 あまりあてはまらない場合は2 全くあてはまらない場合は1

項目	回答者	設問内容	令和5年度(1学期末)	比較	令和4年度(2学期末)
⑤ 生徒理解	教員	子ども一人ひとりに目を配り、いじめや不登校の無い学校づくりに努めているか	88%(3.5)	▲	90%(3.6)
	生徒	先生は、いじめや問題行動に対して、しっかりと対応してくれるか	88%(3.5)	○	83%(3.3)
	保護者	学校(教師)は、子どもたちに対して適切な指導が行い、いじめや問題行動の防止に努めているか	80%(3.2)	○	78%(3.1)
⑥ 生活習慣	教員	家庭地域と連携し、基本的な生活習慣の育成に努めているか	78%(3.1)	▲	85%(3.4)
	生徒	明るいあいさつ、時間を守る、忘れ物をしないなど基本的な生活のリズムができているか	80%(3.2)	・	80%(3.2)
	保護者	明るいあいさつや時間を守るなど基本的な生活習慣の生活リズムができているか	78%(3.1)	・	78%(3.1)
⑦ 信頼構築	教員	学校は、生徒・保護者・地域の願いを受け止める努力をしているか	83%(3.3)	▲	85%(3.4)
	生徒	先生方はみんなの話を耳を傾け、相談にのってくれるか	88%(3.5)	○	85%(3.4)
	保護者	学校は、保護者や地域の声に耳を傾け、要望や相談にしっかりと対応してくれるか	80%(3.2)	・	80%(3.2)

### 「生活面」の達成度



#### <改善策・2学期に向けて>

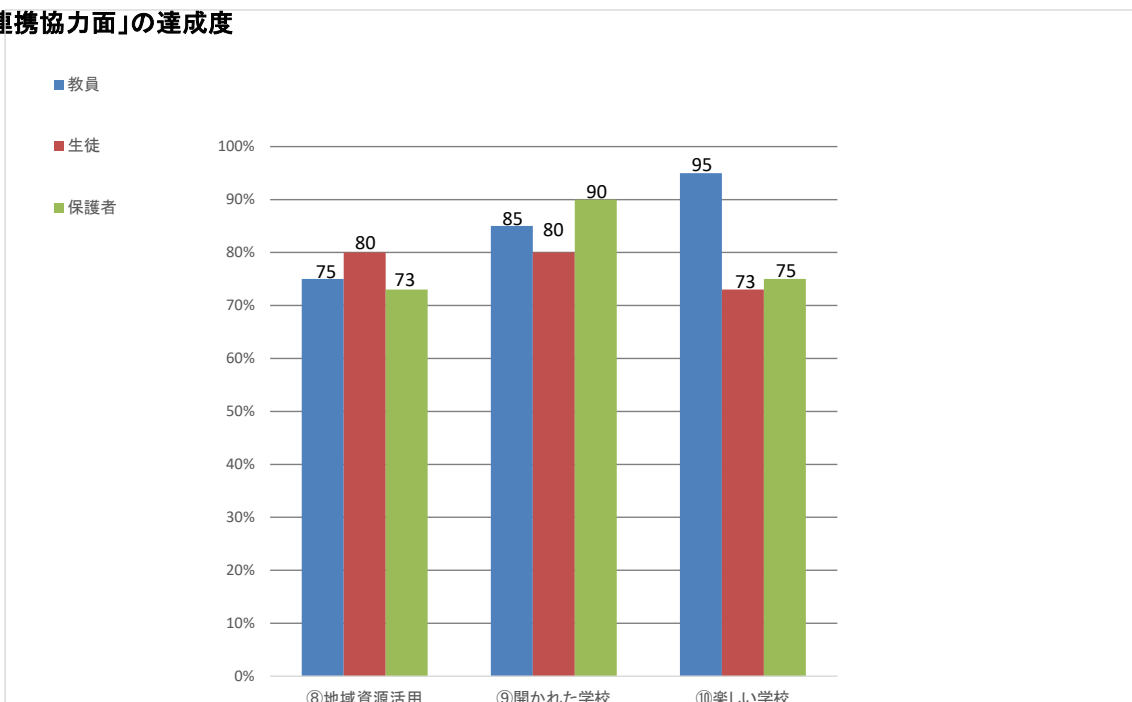
挨拶や時間への意識など、学校行事や常任委員会活動等の取組みを通し、基本的な生活習慣の向上を意識させる場面を大切にまいります。「信頼構築」では、生徒たちの声に耳を傾け、親身に話を聞き、一人一人に寄り添った言葉かけや多くの場面で生徒たちとの交流を大切にし、より良い人間関係の構築ができるように努力してまいります。

## <連携協力面>

よくあてはまる場合は4 ややあてはまる場合は3 あまりあてはまらない場合は2 全くあてはまらない場合は1

項目	回答者	設問内容	令和5年度(1学期末)	比較	令和4年度(2学期末)
⑧ 地域資源活用	教員	学校は地域の人材等の教育資源を生かしているか	75%(3.0)	○	70%(2.8)
	生徒	授業で、外部から先生を招いて工夫のある色々な授業を行っているか	80%(3.2)	○	78%(3.1)
	保護者	学校に地域の人材を積極的に招き、外部と関わる授業が行われているか	73%(2.9)	・	73%(2.9)
⑨ 開かれた学校	教員	学校は積極的な情報発信に努めているか	85%(3.4)	・	85%(3.4)
	生徒	学校だよりや学級通信を自分でも読んでいるか	80%(3.2)	▲	83%(3.3)
	保護者	学校だよりや学級通信等、定期的に発行され、情報発信に努めているか	90%(3.6)	○	88%(3.5)
⑩ 楽しい学校	教員	子どもと活動することが楽しいか	95%(3.8)	○	90%(3.6)
	生徒	学校へ行くことが楽しいか	73%(2.9)	・	73%(2.9)
	保護者	子どもたちは、学校に行くことが楽しいと感じているか	75%(3.0)	○	73%(2.9)

### 「連携協力面」の達成度



#### <改善策・2学期に向けて>

「地域資源活用」では、生徒たちに外部講師から学ぶ貴重な授業を今年度も多く取り入れてまいります。授業の様子につきましても、ホームページを活用し発信してまいります。今後も「より地域に開かれた学校」を目指し、学校の教育活動を公開してまいります。保護者や地域からの声を大切に、学校行事や学年・学級活動に反映し、懇談会や各通信等でご家庭に発信してまいります。

#### 全体を通して(2学期に向けて)

お忙しい中、アンケートへご回答いただき、お礼を申し上げます。結果を踏まえて、学力調査や生徒指導の客観的なデータと併せ、今後の学校改善に活かしてまいりますので、今後とも凌雲中学校の教育活動にご理解とご協力、よろしくお願いいたします。

アンケートの回収率ですが、令和4年度よりも上がりましたが、更に学校への関心を高めていただき、次回のアンケートではより多くの保護者のみなさまからの回答を目指したいと思います。

また、項目にもよりますが、「わからない」の回答平均が令和4年度とほぼ同等の16%でしたので、学校の活動を積極的に公開・発信し、保護者のみなさまに評価していただける学校を目指してまいります。